

2 『日本の食を支える 元気No.1農業』戦略

【戦略のねらい】

高品質で商品価値の高い農産物を供給し、消費者から信頼されるベストパートナーとして日本の食を支える元気な茨城農業を確立します。

【施策展開の方向】

今後とも、茨城農業が発展していくためには、農業改革を着実に推進し、農業者や産地自らが、「つくれば売れる」から「喜んで食べてもらえるモノづくり」へ意識の転換を進め、量から質への転換を図るなど、長期的な視点に立った取組が必要です。

その上で、効果的な販売活動などを展開することにより、高い品質が評価され、多くの消費者から信頼される元気な茨城農業の確立を目指していきます。

(注)基本計画の関連する章・項・節です。

●茨城農業を支える担い手づくり

▶別冊 基本計画[1章 3項 1節 1章 4項 1節 3章 3項 3節]

市町村や関係団体と連携し、意欲と能力のある担い手として認定農業者^{※1}や集落営農組織の確保・育成を図るとともに、幅広い人材の新規就農を促進します。

また、農地の有効利用に寄与する法人の参入を促進するなど、茨城農業を支える多様な担い手づくりを推進します。

●高品質で商品価値の高い農産物づくり

▶別冊 基本計画[1章 1項 1節 1章 3項 1,2節 1章 6項 1節]

粒が大きく食味の良い米を生産するためのいばらき高品質米生産運動^{※2}、ハウス等の施設や畑地かんがいの導入による質の高い青果物産地づくり、銘柄農産物の生産拡大などを進めます。

また、研究機関や食品産業との連携による消費者・実需者^{※3}ニーズに対応した新品種や商品開発のための体制づくりを推進します。

※1 認定農業者

農業で一定水準以上の所得を得る計画を作成し、市町村の認定を受けた農業者。

※3 実需者

小売・卸売業者、加工業者、外食業者などのこと。

※2 いばらき高品質米生産運動

適期田植えや適正な水管理、土づくりなど稲作の基本技術を徹底し、県産米の品質向上を図る運動。

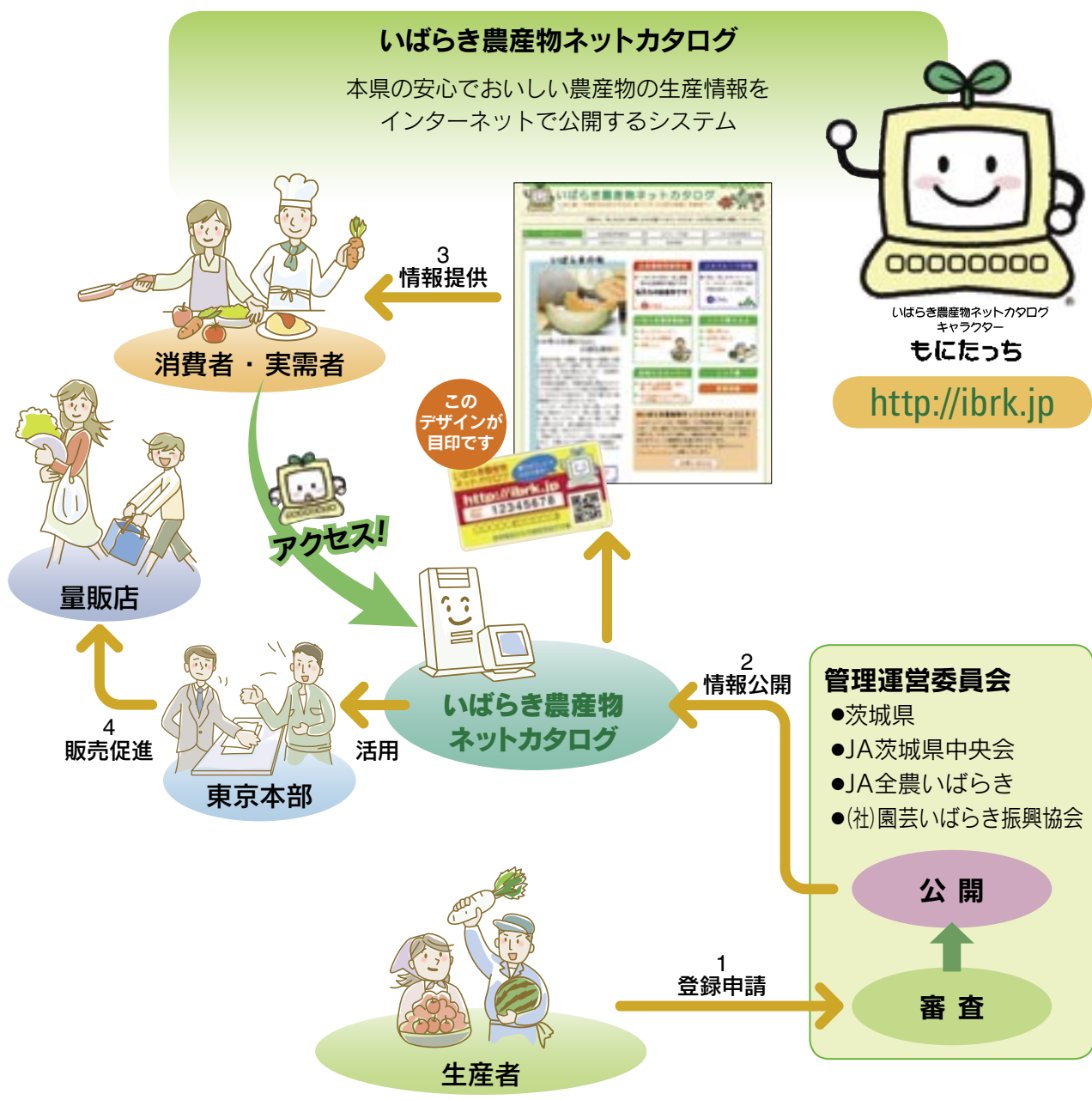
●消費者に安心して買ってもらえる仕組みづくり ▶別冊 基本計画[1章 3項 3節 2章 2項 4節]

安全な農産物を求める消費者ニーズに応えるため、生産管理体制の強化や生産履歴記帳の徹底を図るとともに、生産履歴・産地情報等を提供するいばらき農産物ネットカタログを充実するなど、本県の美味しい農産物を消費者に安心して買ってもらえるシステムづくりを進めます。

●「いばらき農産物」の販売促進とブランドづくり ▶別冊 基本計画[1章 3項 2,3節 1章 6項 1,2節]

消費者・実需者ニーズに対応した生産から販売までの戦略を構築し、各種イベント・商談会等の開催や、地産地消の展開と地域サポーターづくりなどを通して、本県農産物の販売促進のための体制づくりを進めます。

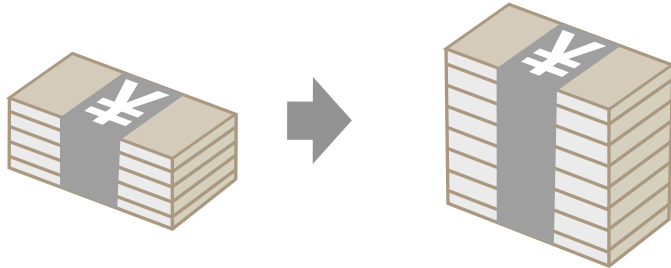
また、いばらきの顔となる主要農産物の集中的なPRなどにより、消費者から認められる農産物のブランド化を進めます。



2 『日本の食を支える元気No.1農業』戦略

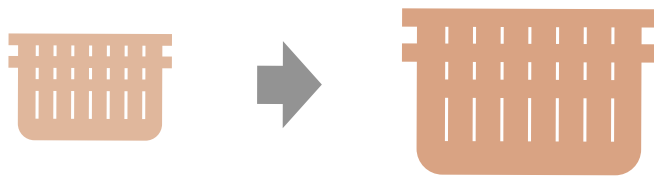
【数値目標】

● 農業産出額



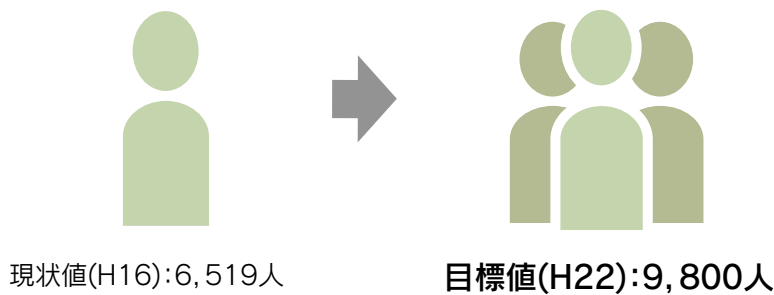
※農業に対する施策の効果を総合的に示す指標であり、農業産出額全国第2位の奪還に向け、農業産出額のさらなる増加を目指します。

● 東京都中央卸売市場における県産農産物シェア(金額ベース)[5か年平均]



※県産青果物の市場での評価を示す指標であり、東京都中央卸売市場におけるシェアがトップを維持できる水準を目指します。

● 認定農業者数



※農業の担い手となる経営体の育成状況を示す指標であり、主業農家^{※1}の認定農業者^{※2}への誘導を進め、主業農家に占める認定農業者の割合が65%となる水準を目指します。

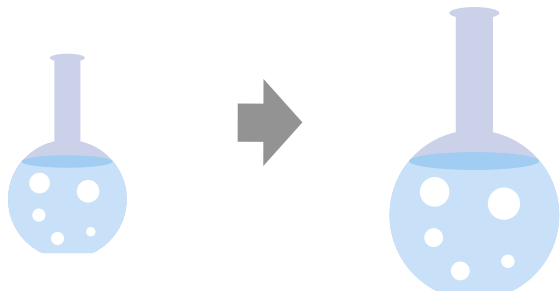
※1 主業農家

農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満の者がいる農家。

※2 認定農業者

農業で一定水準以上の所得を得る計画を作成し、市町村の認定を受けた農業者。

● 県研究機関(農業分野)が開発した研究成果数[5か年平均]

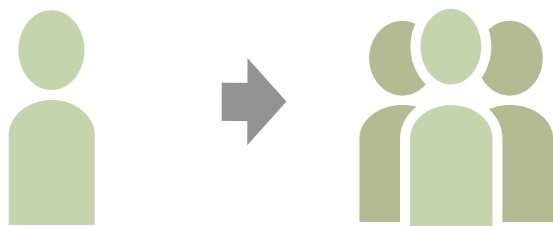


現状値(H16):79件

目標値(H22):90件

※農業分野における研究成果の生産現場での活用状況を示す指標であり、効率的な研究開発に努め、現状値を上回る研究成果数を目指します。

● いばらき農産物ネットカタログ登録集団数^{※3}

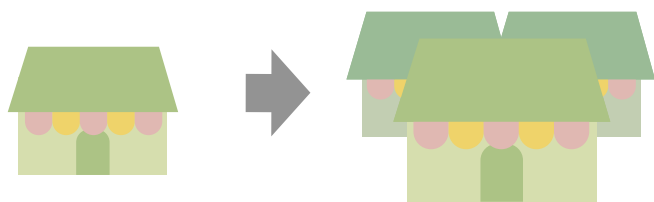


現状値(H16):100集団

目標値(H22):500集団

※産地から消費者への情報発信の状況を示す指標であり、県内園芸生産集団(827集団)の約6割の登録を目指します。

● 本県産農産物販売指定店店舗数



現状値(H16):115店舗

目標値(H22):320店舗

※県産農産物の販売促進を図る拠点づくりの状況を示す指標であり、県内の量販店で180店、料理店で20店、県外の量販店で110店、料理店で10店を目指します。

※3 いばらき農産物ネットカタログ

本県の安心でおいしい農産物の生産情報をインターネットで公開するシステム。